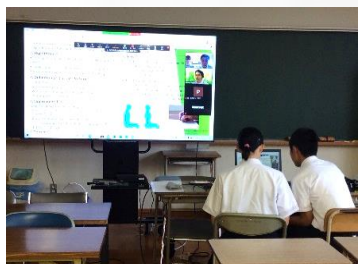


7月7日 米沢興譲館探究フォーラム

7月7日、米沢興譲館探究フォーラムがオンラインで開催されました。

3年生理数探究科28チームおよびコア・スーパーサイエンスクラブの3年生10チームがZoom会議システムを利用して英語によるポスター発表と、質疑応答を行いました。最後に、山形大学の留学生の英語による研究発表のデモンストラーションも行われました。



探究フォーラムを終えて

3年 女子

今回はコロナによる影響でリモートでの開催となりましたが、無事成功させることができ、嬉しく思います。

自分たちの発表を英語にするということで、文章をそのまま翻訳するのではなく、その単語や文章の本来の意味を考える必要がありました。英語で表現することの大変さを実感したと同時に、言葉一つ一つの意味を考えることで私たちが行った研究を改めて考えることができました。また、山形の教授や留学生の方々と英語で直接交流できたことで国際的な視野が広がり、貴重な体験をすることができたと思います。

当初の予定とは違う形での開催でしたが、私達3年生にとって最後の探究活動であり、探究フォーラムを終えて約一年半の活動に終止符を打ちました。興譲館での探究活動を通して学んだ、一つの物事を深く探究することの大変さや面白さを、大学受験やこれからの生活に活かしていきたいです。

探究フォーラムを通して

3年 男子

今回の探究フォーラムでは、2年生からのSSHの集大成として研究内容を英語で発表しました。本番までの準備期間の中で山形大学工学部の留学生の方々との会話を通して、今までの研究の内容をさらに深めることができました。また、本番でうまく、そして時間内に発表できるように英語を読む練習を繰り返し行うことで、自分たちの発表の完成度を高めていくことができました。

本番では、機械のトラブルは多少ありましたが、臨機応変に対応して、練習の成果を出してとても良い発表ができたと思います。探究フォーラムの最後には留学生の方の話を聞きました。所々理解が難しいところがあり、英語力をもっとつける必要があると感じました。

今回の活動は、普段英語での会話や外国の方と交流の少ない私にとって、とても貴重な経験となりました。また、自らの英語に対する関心や学習の意欲をさらに高めるきっかけとなりました。

7月8日 1年異文化融合サイエンス(FS)A期第2回

1年生を対象とした学校設定科目「異分野融合サイエンス」では、全教科が協力し、様々な学問領域を融合させ、大学や研究機関等と連携を図りながら体験的な実験講座や演習等を行っています。13のコースがあり、A期とB期に分けテーマを選んでいきます。A期第2回目のFSが7月8日に行われました。

米沢の地域振興を考える

地域振興とデータサイエンスコース 1年 女子

今回の活動で、私たち「地域振興とデータサイエンス」コースは道の駅米沢でフィールドワークに行ってきました。駅長さんからの話をお聞きしたりグループ活動として現地調査を行ったりして、前回のFSで多く上がった「どこからの観光客が多いのか、また年齢層の分布はどうなっているか」などの疑問解決に臨みました。調査の結果、どちらの疑問についても平日か休日かによって差が生まれることがわかりました。更に地域の違いについては、道の駅米沢は山形県と他県とをつなぐ窓口の役割を果たしているとお伺いしたため、現地の車のナンバーを確認したところ、東北だけでなく北海道や関東からの観光客も多くみられました。

今回の活動を通して米沢の観光業の現状を知ることができました。米沢の魅力をより多くの人々に発信するために、自分自身もより深く地域のことを学んでいきたいです。

